
BLEACH ~ 母親を失った少女 ~

桂 ヒナギク

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

BLEACH〜母親を失った少女〜

【Nコード】

N8700Y

【作者名】

桂 ヒナギク

【あらすじ】

母親を虚^{ホロウ}に殺された少女、白崎 茜は死神となり虚退治^{ホロウ}をすることに。

空座町の一角。

一人の少女、白崎 茜が虚に追いかけていた。

(何なの、この化け物!?)

茜は全速力で走り、虚を撒いた。

「はあ……はあ……、何だったのかしら?」

茜は背後を確認すると、「もう追ってこないわね」と言って帰路に就いた。

家に帰り着き、中に入る茜。

「ただいまー!」

しーんとしている。

「お母さん! 居ないの!?!」

靴を脱いでリビングへ移動する茜。

そこには倒れている母と死覇装という黒い着物を纏い、斬魄刀を持ったアフロの男、車谷 善之助の姿があった。

「もう手遅れだな……!」

「何が手遅れだ!?!」

茜は車谷を蹴り飛ばした。

「どわ!?!」

壁に顔面からぶつかる車谷。

「お主、私が見えるのか?」

「見えなきゃ蹴らないわよ! で、この状況は何!?!」

「どうやらお主の母親は虚に殺られたみたいだな」

「ほろろ?」

「悪霊のことだ」

「そ……そんな、お母さんが悪霊に殺されるなんて!」

茜はその場に崩れ、泣き出した。

「お嬢さん、敵を討ちたいか?」

「討てるの？」

「お主が死神になればな」

「しにがみ？」

「死神とは、霊界・ソウル・ンサエティ尸魂界内にある護廷十三隊という組織に所属しており、迷いし霊・プラス整を、尸魂界に送ったり、現世を荒らす悪霊・ホロウ虚から現世を護り、尸魂界と現世にある魂魄こんぱくの量を均等に保つことが役目の調整者のことだ」

「へえ、それで、どうすれば死神になれるの？」

「うむ、その前にだ」

「???」

車谷は茜を突き飛ばした。

その直後、壁が壊れ、先程茜を襲っていた虚ホロウが現れた。

「ピギャー!!」

虚ホロウは車谷を殴り飛ばした。

「ぐはっ!!」

虚ホロウが破壊した壁とは逆側の壁に激突する車谷。

「アフロ!!」

茜は車谷に駆け寄った。

「今の攻撃でかなりのダメージを受けたみたいだ」

車谷は覚束おぼつか無い足取りで立ち上がる。

「どうやら立つのだけで精一杯だな。後はお主に任せるしかないみたいだ」

車谷は斬魄刀ざんぱくとうの刃先を茜の腹部に突き刺した。

その瞬間、茜が背中に大刀を背負った死覇装の姿に変わる。

「ちよっ……何？ 格好が変わったわよ？」

「そんなことはいいいから虚ホロウを」

茜は虚ホロウの仮面に巨大な斬魄刀を突き刺した。

虚ホロウは悲鳴をあげて消滅した。

「で、どうすれば戻れんの？」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8700y/>

BLEACH ~母親を失った少女~

2011年11月26日01時49分発行